

農地法第4条第1項の規定による許可申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

九州農政局長

殿

鹿児島県知事

記載例

申請者 農業 花子

印

下記により農地を転用したいので、農地法第4条第1項の規定により許可を申請します。

1 申請者の住所及び職業	住所										職業
	鹿屋市共栄町〇〇番地〇〇										農業
2 許可を受けようとする土地の所在、地目、面積、利用状況、普通収穫高及び耕作者の氏名	土地の所在地				地目		面積	利用	10aあたり普通収穫高	耕作者氏名	市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別
	市町村	大字	字	地番	登記簿	現況	(㎡)	状況			
	鹿屋市	〇〇町		〇〇	畑	畑	〇〇〇	普通作	(例) 甘しょ 2,000kg	農業 花子	その他の区域
	鹿屋市	〇〇町		〇〇のうち一部	田	田	〇〇〇㎡のうち〇〇〇㎡	不耕作	(例) 水稲 500kg	農業 花子	その他の区域
	計 〇〇〇 ㎡ (田 〇〇〇 ㎡, 畑 〇〇〇 ㎡, 採草放牧地 〇〇〇 ㎡)										
3 転用計画	(1) 転用の目的		(2) 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細				(例) 現在貸家住まいのため申請地に持家を建築する。				
	1 一般住宅										
	2 農家住宅										
	3 山林										
4 その他( )											
(3) 事業の操業期間又は施設の利用期間		令和 〇〇 年 〇〇 月から 年間 許可後永久									
(4) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要	工事計画		第1期(着工 〇〇 年 〇 月から 〇〇 年 〇 月)			第2期(着工 年 月から 年月)			合計		
	名称	棟数	㎡ 建築面積	㎡ 所要面積	棟数	㎡ 建築面積	㎡ 所要面積	棟数	㎡ 建築面積	㎡ 所要面積	
	土地造成			〇〇〇						〇〇〇	
	建築物	一般住宅	〇	〇〇	〇〇〇				〇	〇〇	〇〇〇
	工作物	車庫	〇	(〇〇)	〇〇〇				〇	(〇〇)	〇〇〇
計		〇	〇〇	〇〇〇				〇	〇〇	〇〇〇	
4 資金調達計画		融資 〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 内訳 土地造成費 〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 建築費 〇, 〇〇〇, 〇〇〇円 登記手数料等 〇〇〇, 〇〇〇円 合計 〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円									
5 転用することによって生ずる付近の土地作物、家畜等の被害の防除施設の概要		(例) 東 畑 西 宅地 南 道路 北 山林 ブロック等により土砂流出を防止する計画のため転用によってことによって付近の土地作物に影響が生じることはない									
6 その他参考となる事項		(例) 代替地を検討したが、適当な場所がなかった。 農振除外 平成〇〇年〇〇月〇〇日決定済み									

申請日を記入する

それぞれ記名押印する氏名を自署した場合は押印は省略できる  
申請人が法人の場合は法人名、代表者名、法人代表の印

所有者の住所が登記事項証明書に記載された住所と異なる場合は、住所の経過が確認できる書類(戸籍の附票)を添付する

登記全部事項証明書と同じ内容を記載する

1筆のうち一部を転用する場合は求積図を添付

現在耕作していない場合は従前の耕作状況を記載

その他の場合転用目的を具体的に記入  
(例) 建売住宅、牛舎、店舗付住宅、貸家、資材置場、

農地を転用するに至った事由や必要性について記載

期間が定めていない場合は許可後永久、定めてある場合はその期間を記載する

工期は(適切な理由が無い限り)長くても1年以内を目的にお願いします。

転用する内容を記載し、宅地や雑種地等が含まれる場合は転用事業に伴う全体面積を記載する  
なお、宅地や雑種地等がある場合は括弧書きで記入し、面積は合計を記載する  
事業計画書を添付している場合は、工事期間を合わせる

転用に係る資金について全て記載する  
融資調達法を記載する  
融資予定証明や残高証明など資力があることを証明する書類を添付する

具体的にどのような被害防除策を講ずるか記入

代替地を検討したか記入  
他法令で許可が必要な場合その手続き状況を記入  
(例) 〇〇法許可済

建築物でない、工作物等は建築面積の欄には記入しない。又は、(〇〇)のような記載にする。

許可を受けようとする土地の面積=所要面積となるよう留意ください。(他に同時開発する土地がある場合を除く)

権利が設定されている場合は権利者の氏名等を記載  
権利が設定されていない場合は管理者の氏名を記載